

シリーズ教育相談 Q&A 「子どもにスマートフォンを持たせたいのですが、不安です…」

Q 小学六年生の子どもが塾に行くようになり、行き帰りが心配なことから、スマートフォンを持たせようかと思っています。友だちの何人かがスマートフォンを持っていて、ネット上でグループをつくって使っているようで、「自分もそのグループに入りたい。」と言います。しかし、ネットに関わるトラブルや、ネット依存について気になり、小学生に持たせてよいものか不安です。持たせるとしたらどんなことに気をつけたらよいでしょうか。

A スマートフォンは緊急時の連絡ができたり、調べ物等に活用できますが、持つ意味や使う目的がどこにあるのかを検討した上で「小学生の今、本当に必要なか」を慎重に考えることが大切です。行き帰りが心配ということであれば、GPS機能のついた子ども向け携帯電話でも十分です。その上でお子さんにスマートフォンを持たせるのであれば、トラブルが発生した際は、親の責任と理解した上で、次のことに気をつけたらよいのではないかと思います。

スマートフォンは、常にインターネットに接続することができる小型のパソコンに通話機能を付け足したものと考えたらよいでしょう。つまり、親の知らない間に、子どもが自由に様々なホームページを見たり、不特定多数の人々とコミュニケーションをとったりすることができるようになります。そのため、個人情報流出するなどして事件に巻き込まれることや、見知らぬ人と簡単に出会い、被害に遭う可能性があることを十分に理解しておく必要があります。

お子さんにとって何が危険で何が安全なのか、自分で判断でき、責任を持てるようになるまでは、フィルタリングの機能などを活用し、有害とされるサイト等につながらないようにして、トラブルからお子さんを守る工夫も必要です。

また、ネット上でのコミュニケーションは、利用の仕方によっては、人を傷つけたり自分が傷つけられたりすることがあるということや、場

合によってはいじめにもつながる可能性があります。よく説明しておく必要があると思います。ネット上でのグループ内のコミュニケーションでも、日常生活におけるルールやマナーを守ることの大切さを伝えておきましょう。

さらに、親子で使用についてのルールづくりをしておきましょう。例えば、「午後九時以降は使用しない」とか「家に帰ったらスマートフォンはリビングの棚に置く」「食事中、入浴中はスマートフォンを使わない」「時々利用状況を確認する」などです。お子さんと話し合って、お子さんが納得したルールを具体的に決められるとよいと思います。自分の時間や家族との時間を持つことも大事にしてほしいと伝え、スマートフォンから離れる時間をつくることを決められてもよいのではないのでしょうか。ルールについては、一度決めたら終わりにするのはなく、定期的な確認をして、形骸化しないように気をつけてください。同時にお子さんの様子を普段からよく見て、いつもと違う様子を見逃さないようにすることも大事です。

学校で行われる保護者や子ども向けの研修会などへも参加して、親子で話し合いをし、一緒に上手な使用方法について確認するとともに、もし困ったことや心配なことがあれば、下記窓口に御相談ください。

